

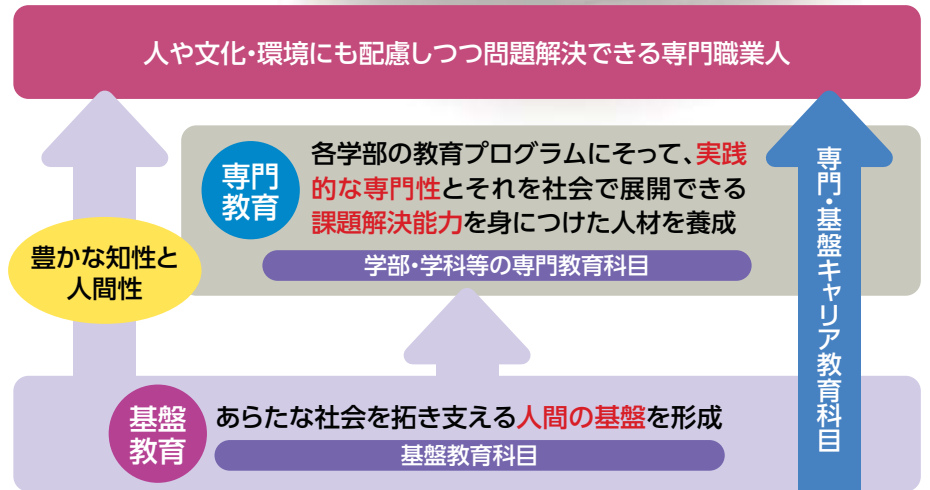
宇都宮大学の教育

本学の学士課程教育は、全学部で教員が協働で実施する基盤教育と、学部・学科等ごとに実施される専門教育の二つの部分から構成されています。

宇都宮大学の教育目標

専門に関する基礎を身につけ、広い視野とバランスのとれた判断を可能にする豊かな人間性を持った人材の育成をめざします。
具体的には

1. 現代社会に必要なリテラシー、幅広く深い教養と豊かな人間性、そして、知と行動力を統合した行動的知性を育成するための基盤教育を行います。
2. 実践的で専門的な知識を修得するための専門教育を行います。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、問題解決能力を身につけ、「あらたな社会」を拓き支える人材を育成します。



また本学では、実施する教育活動の全貌を前もって分かりやすく知らせておくことが重要であると考え、

- ① どのような人材に養成するかを明示した“教育プログラム・シラバス”、
- ② 科目ごとの到達目標や成績基準を明示した“教科シラバス”、
- ③ 学修・教育達成目標がどの教科によってどのように達成されるかを一覧表にした“確認マトリックス”

を作成しています。これらを有機的に連携させ、教育の質を保証するシステムを構築すると同時に公開し、社会への説明責任を果たしています。

“Learning+1” (ラーニングプラスワン)

Challenge・Change・Contribution

意欲的に挑戦し(Challenge)、自らの可能性を拓げ(Change)、広く社会の発展に貢献(Contribution)することを期待しています

“Learning+1”(ラーニングプラスワン)とは

現代の多様に複雑化する諸課題に対する理解を深め、解決に向けて行動するためには、複眼的な知識や視点を身につけることが大切になってきています。そこで、学部における専門教育にプラスして、多様な他の領域の知識や能力を身につけることができる“Learning+1”を用意しています。自主的かつ意欲的に学ぶ領域を掘り深めることによって、「人間力」を高め将来の可能性を広げることをサポートします。現在、グローバル人材育成プログラム及び高齢者共生社会プログラムを開設しています。

“Learning+1”プログラム例

グローバル人材育成プログラム

グローバル化社会での地域活性化、多文化共生地域づくりを担う人材の輩出

修得される具体的な能力

- A** 英語の運用能力
英語によるディスカッション、プレゼンテーション能力
- B** 社会人としての基礎力
「問題から出発した専門家」の育成、課題発見力
- C** 異文化の理解力・活用力
「異文化の差」の認識、興味、行動、新しい価値の創造力
- D** 地域経済活性化を担う力
国際的な分野での専門知識、問題解決能力
- E** 多文化共生地域をつくる力
地域におけるグローバル化への課題認識と対応力
- F** 社会的弱者の視点に立つ力
強者と弱者、異なる立場・状況との共生、多面的構想力

詳しくは、「宇都宮大学の学士課程教育2015 -学生の皆さんへの約束- (冊子)」またはホームページをご覧ください。

URL <http://www.utsunomiya-u.ac.jp/research/index.php>